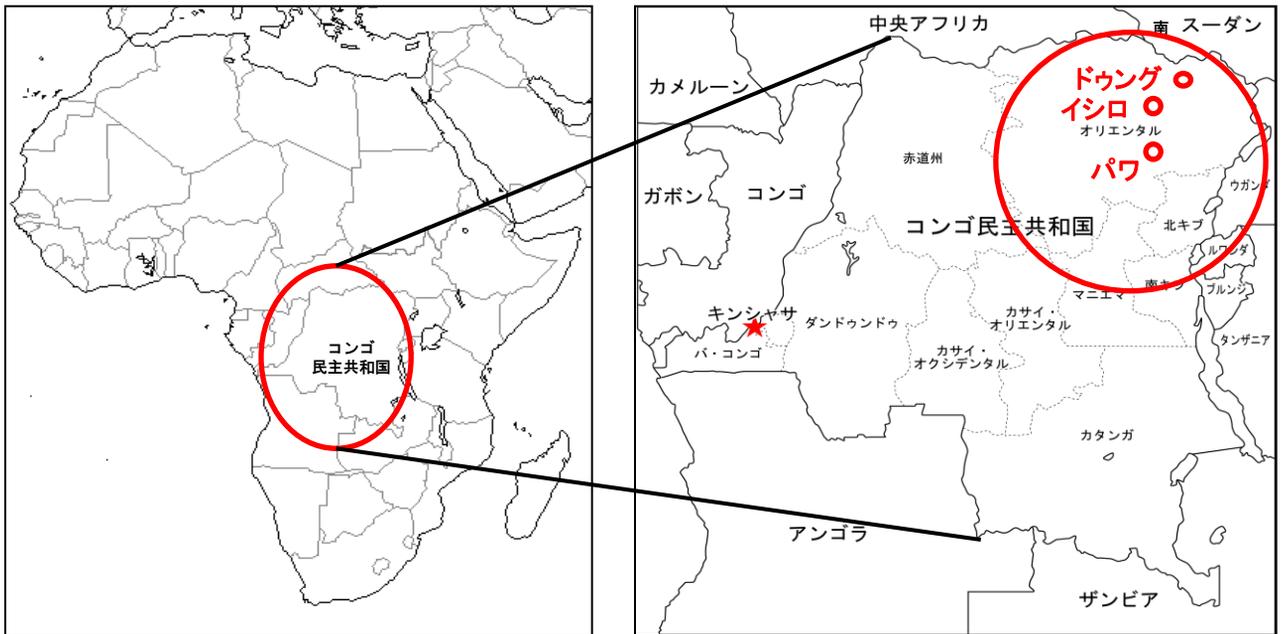


コンゴ民主共和国東部で エボラ出血熱が発生しています

WHOの情報によると、コンゴ民主共和国東部のオリエンタル州でエボラ出血熱が発生し、15人の患者と10人の死亡者が確認されています(2012年8月21日現在)。

(最近ウガンダで発生したエボラ出血熱の流行とはウイルスの株が異なり、相互に関連性はないとのことです。)



- エボラ出血熱は、ウイルスに感染した動物やヒトに接触することにより感染し、死亡するリスクの高い(25～90%)恐ろしい病気です。
- 潜伏期は、2～21日(通常は7日程度)で突然の発熱、疲労感、筋肉痛、頭痛、咽頭(のど)痛で発症します。それに引き続き、おう吐、下痢、肝・腎機能低下がみられ、進行すると全身に出血傾向が出現し死亡します。

この病気に対する確立された治療法やワクチンは今のところありません。流行地域に近づかないことが重要です。

感染した人の血液や体液、これらに汚染された可能性のあるもの、動物(死体を含む)に触らないでください。

